

メディア関係者各位

## 世界最大のカニ「タカアシガニ」の赤ちゃんが生まれました。 小さな小さな“赤ちゃんガニ”を、本日(4/21)からお披露目開始。

海遊館（大阪市港区）では、2026年4月21日（火）より、海遊館エントランスビル4Fにて、3月3日（火）に海遊館で誕生したタカアシガニの赤ちゃん（メガロパ幼生、5匹）の展示を開始しましたのでお知らせします。



タカアシガニのメガロパ幼生（約3mm）



世界最大のカニ・タカアシガニの成体

タカアシガニは、鋏脚（きょうきやく）を広げると3m以上にもなる世界最大のカニです。海遊館では1990年の開業当初より、最大水深8,000mに達する深海域を再現した「日本海溝」水槽にて飼育展示しています。2026年3月3日（火）に、水槽内でタカアシガニの赤ちゃんが生まれているのを飼育員が発見し、約500匹を予備水槽へ移動させ、アルテミアやサクラエビなどの餌を与えながら成長を見守りました。誕生直後の赤ちゃんは「ゾエア幼生」と呼ばれる成体とは大きく異なる姿をしており、脱皮を繰り返して「メガロパ幼生」、成体に近い姿の「稚ガニ」へと成長します。展示中の赤ちゃんは「メガロパ幼生」で、体の幅はわずか3mmほど、脚を広げても約5mmと大変小さく、近日中には稚ガニ（脚を広げて約1cm）へと成長する見込みです。

海遊館では2023年、2025年と過去2回「稚ガニ」になるまで育成することに成功しており、2025年には展示してお客様にもご覧いただきました。今回も世界最大のカニ「タカアシガニ」の今しか見られない貴重な姿をぜひご覧いただき、成体との大きさや姿かたちの違いから命の神秘さを感じていただければと考えています。

別紙にて、タカアシガニの赤ちゃん展示概要などをお知らせします。

**【本件に関するメディア関係者各位からのお問い合わせ先】**  
**海遊館 広報チーム 06-6576-5529**

## 別紙

### 【タカアシガニの赤ちゃん（メガロパ幼生）展示概要】

- 展示期間：2026年4月21日（火）より展示中（終了時期未定）
- 展示場所：海遊館エントランスビル4F「飼育員カウンター」
- 展示生物：タカアシガニのメガロパ幼生（約3mm）5匹。
- その他：生きものの状態により、予告なく展示を中止、終了する場合がございます。

### 【タカアシガニの孵化幼生飼育について】

海遊館では、タカアシガニの孵化幼生飼育に取り組んでいます。2023年には和歌山県で漁獲された、抱卵中のメスのタカアシガニから誕生したゾエア幼生120匹を搬入し、水族館では初となる稚ガニへの育成に成功しました。その内容は海遊館機関誌「かいゆう」Vol.27にて発表しており、海遊館ホームページにてご覧いただけます。

かいゆう Vol.27 : [https://www.kaiyukan.com/assets/pdf/connect/laboratory/bulletin/kaiyu\\_27.pdf](https://www.kaiyukan.com/assets/pdf/connect/laboratory/bulletin/kaiyu_27.pdf)

### 【タカアシガニについて】

英名：Japanese giant spider crab

学名：*Macrocheira kaempferi*

オスは缺脚を広げると3m以上にもなる世界最大のカニ。より大きな分類群である節足動物としても世界最大の種で、主に日本近海に分布するが、台湾などでも漁獲例がある。普段は深海域で生活し、春になると産卵のために浅海域へ移動することが知られている。孵化後は脱皮を繰り返しながら「ゾエア幼生（Ⅰ期）」、「ゾエア幼生（Ⅱ期）」、「メガロパ幼生」、「稚ガニ」へと変態し、長い年月をかけて成体へ成長する。



ゾエア幼生（Ⅰ期）



ゾエア幼生（Ⅱ期）



メガロパ幼生



稚ガニ



成体

（以上）